

2017年12月27日

**博報堂と朝日新聞社、共にインドでの課題解決型ビジネス調査に着手****日本式学習プラットフォーム事業「みっけ」、JICAの公募事業に採択**

株式会社博報堂(代表取締役社長:水島正幸)と株式会社朝日新聞社(代表取締役社長:渡辺雅隆)が共同で取り組んでいる、アジアでの日本式学習プラットフォーム事業「みっけ」が、インドを対象国として、国際協力機構(JICA)による「途上国の課題解決型ビジネス(SDGs ビジネス)調査」に採択されました。今後、学習誌「みっけ」などを使いながら、インドの衛生・環境意識向上のための総合学習教材販売ビジネスの調査に取り組んでまいります。

博報堂は、国連の持続可能な開発目標(SDGs=Sustainable Development Goals)の普及・啓発を担う国際連合広報センターと協力し、SDGsの公式日本語版アイコンと公共広告映像の制作や、クライアント企業に対し、SDGsを組み入れた経営・事業推進をサポートするソリューションを提供するなど、SDGs達成に向けた様々な施策に積極的に取り組んでいます。また、朝日新聞社はこれまでも報道やイベントを通じSDGsへの理解を広め、目標の達成を後押しする活動を続けています。

今回、博報堂と朝日新聞社は共同で、インドで朝日新聞グループの持つ学習コンテンツを使い、衛生・環境問題を題材にした総合学習教材を現地小学校の課外授業に導入することを目指しています。同時に、現地でワークショップやイベントを開催し、児童の衛生・環境意識を向上させ、野外排泄やごみ問題の低減を図ります。

タイ版「みっけ」最新号の表紙



【本件に関するお問い合わせ】

博報堂 広報室 江渡

TEL : 03-6441-6161

■ **日本型教育プラットフォーム事業「みっけ」について：**

新興国などから注目されている日本の教育手法を広める取り組みとして、小学校高学年が楽しみながら読める無料の学習誌「みっけ」を 2016 年 9 月より、タイの小学校に配布しています。ビジュアルを多用した日本発の「おもしろくて、ためになる」学習素材として配布対象を広げ、2017 年 12 月時点で約 300 校にのぼっています。朝日新聞出版の科学雑誌「かがくる」などの記事のほか、理科や算数、社会、物語などさまざまなテーマで、知力や想像力を伸ばす内容となっています。質の高い日本式学習コンテンツの供給を通じた「教育の質の向上」を図ることを目指しています。

■ **持続可能な開発目標（SDGs）について：**

2015 年の国連総会で全会一致で採択され、「貧困をなくそう」「人や国の不平等をなくそう」など 17 分野の目標（ゴール）で構成されています。今回のインドでの共同事業は、このうち「質の高い教育をみんなに」（目標 4）と「安全な水とトイレを世界中に」（目標 6）の追求に資するものとして、JICA の公募事業に選ばれました。

■ **JICA のニュースリリース：**

[https://www.jica.go.jp/press/2017/20171226\\_02.html](https://www.jica.go.jp/press/2017/20171226_02.html)